

平成22年度一般会計・特別会計補正予算や条例の制定・廃止・一部改正などの議案を各常任委員会で審査しました。



Q 60歳以上のプールやトレーニング室の使用料を、大人使用料の半額にするとのことだが、60歳以上の利用者数は把握されているのか。

A 平成22年6月に行った、スポーツに関する市民意識調査から算出された年齢別利用者割合を参考とし、60歳以上の利用者は、月見の里学遊館水玉プールは約4,200人、袋井B&Gは約16,200人、浅羽B&Gは約450人、合計約20,850人と推計している。



月見の里学遊館水玉プール

Q 合併処理浄化槽設置の補助金を増額した背景は何か。また、特定集団推進地域の状況はどうか。

A 合併処理浄化槽については、現在、新設及び付け替えて209基、特定集団地域で49基の合計258基となるなど、予想以上に申請件数が増えている。そのため、今回1,127万円を増額補正し対応する。また、特定集団推進地域浄化槽設置事業の今年度の申請基数は、三川地区で23基、宇刈地区で26基が出されている。

Q 貸付金利子補給申請から見たお茶凍霜被害の状況はどうであったか。

A 貸付金利子補給申請においては、本市では4人が申請し、貸付金額合計の1,210万円の利率1.1%の半額0.55%について、袋井市とJA遠州中央農協により、借付日数を踏まえて、それぞれ38,146円を利子補給することとなった。本市では、一番茶については、前年度の8割程度の収穫量であったが、二番茶・三番茶には影響があり、取扱量は少ない状況であった。

建設経済委員会

Q 容器包装リサイクル協会からの再商品化合理化拠出金では、どのような品目が一定基準を超えることができたのか。

A 容器包装リサイクル協会は、平成21年度から、分別収集したプラスチック製容器包装やペットボトルなどの品質が良いと評価した自治体には、拠出金を配分している。

本市では、平成21年度の容器包装比率が96.48%と高成績であったことから、プラスチック製容器包装、ペットボトルの2種類において拠出金1,475万円の対象自治体となった。



分別収集したプラスチック製容器包装